

合格体験記

氏名：井上 拳

受験歴：2020 年度 1 次&2 次合格

●予備校歴

- ・1 次独学、2 次 MMC 後期コース(通信)

●MMC を選んだきっかけ

結論：合格率が高かったから。

まず、私は 1 次試験が終わってから初めて 2 次試験の情報収集を始めました。

その時点で過去問も見たことがありませんでした。

理由は単純で「1 次試験の学習で精いっぱいだった」からです。

2 次試験の学習を並行して 1 次試験に落ちてしまったら・・・

という怖さがありました。

1 次試験が終わり、まず 2 次試験の過去問を 1 年分解いてみたところ、「なにも書けない・・・」という状態でした。

この感覚に恐怖を覚え、独学では効率が悪すぎるし受かる気がしないと思い、予備校を調べ始めました。

信頼のあるデータかどうかはわかりませんが、どなたかのブログで「MMC の 2 次合格率が最も高い」というようなことが書かれていました。

また、2 次特化の専門学校ということで「なんとなく受からしてくれそう」と安易に考え MMC にしました。

●MMC の良かったところ

結論：①キーワードマトリクスが活用できる(使い方も教えてくれる)

- ②事例 4 の応用問題集が最強

完全に主観ですが、「弱者の戦い方を教えてくれる」と勝手に思っており、多年度生に学習量で完全に敵わない私にとってはとても心強かったです。

①

事例 1～3 では、キーワードマトリクスを使った回答のパターン化で、無限に回答の仕方がある 2 次試験において、書くことがだいたい決まってくるので、時間短縮と再現性の向上

を助けてくれました。

「与件文を分析して、論理的に整理して、1次試験の知識も使いながら・・・」とか難しいことはせず、「こうきたらこう！」とほとんど決め打ちしていました。

この方法は賛否両論あると思いますし、MMCが本当にこのやり方を求めているのかは分かりませんが(笑)私にはこのやり方しかありませんでした。

これは、ストレート生で勉強時間が少ない自分にとってはまさしく「弱者の戦略」であり、合格できた要因だと思います。

②

事例4は「応用計算問題集」をひたすら繰り返し、全部覚えるまでやりこみました。

1次試験の財務会計では、唯一合格点に達しなかったほど苦手でしたが、この問題集を繰り返してからは完全に得意科目になりました。

本試験でもおそらく一番得点が高いと思います。

色んな問われ方や複雑な条件を付けた問題があるため、本試験で過去問と問われ方を変えてきても、基本(その計算の意味)を理解できているため、冷静に対応できました。

(それでもわからない問題は潔くスキップする判断がすぐにできました)

●勉強法

前述と被るかもしれませんが、

事例1~3：キーワードマトリクス丸暗記、基本問題集丸暗記

→演習や過去問でそれらを使えるように繰り返す。

事例4：市販問題集(有名どころです。)、過去問&応用計算問題集

まず、事例1~3についてはキーワードマトリクスを丸暗記しました。

そして、過去問7年分程度の設問文を見て、キーワードマトリクスが使える設問をすべてチェックし、回答の練習をしました。(この時点で与件文は全く見ていない。)

以降は、過去問や演習を通して解いて、キーワードマトリクスの使い方に慣れていきました。

事例4については、まず市販の問題集で基本的な問題を解けるように繰り返し、過去問をやってみましたが、初見問題ではなかなか解けるようになりませんでした。

そこで、応用計算問題集を4周くらい回したところ、初見の演習問題もある程度楽に解けるようになりました。(計算スピードもだいぶ速くなりました。)

勉強したことはこれくらいで、ほかに特に特別なことはやっていません。

とはいえ、上記の勉強は死ぬ気でやりましたので、楽に合格したというわけではなく、だれよりも勉強したという自信はあります。(MMCの方針ではないかも？(笑))

●中小企業診断士試験を通しての感想

1次試験の範囲は7科目と広く、2次試験は受かり方がよくわからないし、上達している実感も少ないし競争率も高いという大変な試験でした。

しかし、中小企業診断士試験にかかわらず、プレッシャーのなかで受験して合格するという体験は何にも代えがたいものであると本気で思いました。

資格の難易度や特性によっていろいろと議論があったりすると思いますが、本気で勉強して合格を勝ち取った人は本当に全員尊敬できます。(資格試験に限らないですね。本気で頑張っている人は絶対に馬鹿にできないですし、尊敬します。)

とにかく本当に素晴らしい経験ができました。

また、これから中小企業診断士として活躍していける未来に心からワクワクします。

最後に、私を支えてくださった方々、応援していただいた方々、MMC講師陣の方々、ここまでお付き合いしていただき、本当にありがとうございました。